

## 代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社  
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

三寒四温の季節、このところ日が長くなったように思えます。先日柔道の松本薫さん（野獣）の引退

が発表されましたが功績は五輪2大会連続メダル、体重別三冠達成と素晴らしい活躍でした。子育てをしながらの活躍立派だったと思います。また、後輩達の活躍が報じられました。柔道のグランドスラムパリ大会での日本勢の目覚ましい活躍、東京オリンピックに期待が持たれます。

まだまだ寒さが厳しいですがくれぐれもご自愛ください。

## サンライズの物語

きっかけは“片付け”——

役割が人を輝かせる物語



その方は認知症に罹患し妄想や幻覚が出現し近所とのトラブルが絶えず一旦は施設へ入所されたのですが、ご家族が施設に面会へ行くとぼんやりとしていて認知症が進行してしまっていたとの理由で自宅へ連れ帰った方でした。

初めてお会いした時は発語もなくうなだれていたのが印象的でした。物忘れがあり薬も飲まない状況でした。通所介護を利用して服薬管理をしたらどうかと提案し毎日通所介護へ通い出したのです。

施設でも帰宅願望が強くレクが終わると「それでは、このへんで失礼致します」と帰り支度を始めます。そんな中、職員が以前の明るさや生きる張りを思い出して欲しいと思い提案したのが職員の仕事を手伝って貰う事でした。

帰る支度をする時に通所介護の職員が「まだですよ。仕事が残ってます。食事の盛り付けや片付けを手伝って貰っても良いですか？」と言うと「何の仕事？」と手伝い始めたのでした。

自宅へ定期訪問しても最初にお会いした時とは見違えるように色々な話をされ「通所介護では重宝にされているのよ。仕事が一杯あって楽しいの」とのこと。

物忘れがあってもできる事が沢山あります。その方の生活暦に寄り添い、その方のできる事を引き出す事の大切さ、家族や誰かの為に何かをする事で自分が役に立っている喜びが、その人を輝かせるんだと実感しました。

## サンライズのデイサービス陽光だより



【看護師】  
千田 由美子

サンライズのデイサービス陽光の看護師の  
千田 由美子です、よろしくお願いいたします。

ナースの経験は35年で病院や介護施設等で勤務しておりました。  
デイサービスで安心して過ごせるように頑張っております。

【入社10/16】 【血液型B型】



井上から  
エール！

ベテランナースさんです。頼りになる千田さんをどうぞよろしくお願いいたします。  
火曜日に出勤しております。

## 介護に役立つ書籍紹介

### Go Go! 介護

著者：津田 かおり

やや不器用なアラフォーイラストレーター・ツダさん、未経験の介護の世界へ！  
資格取得のための研修から、施設での初めての仕事、その後の訪問介護まで…  
介護の仕事を10年間続ける著者による、実録介護現場コミック！  
笑いあり、癒しあり、衝撃あり！ 読めば元気が湧いてくる1冊。



## NEWS 今月のニュース

### 労災事故防止で「転ばぬ先の体操」考案

福祉などの現場で中高年の女性従業員が転倒してけがをする労災事故が急増しているのを受け、愛知労働局は中京大の協力を得て「転倒予防体操」を考案した。ホームページ上で動画を公開し、「転ばぬ先のつえ」ならぬ「転ばぬ先の体操」による事故防止に期待している。

労働局によると、二〇一八年に起きた労災事故のうち、転倒は千四百七十七件（速報値）で全体の23%を占める。昨年発生した事故が今年に入って報告されるケースも多く、過去五年間で最多の千五百二十四件だった一七年を上回

る見通しだ。発生場所別では、商業と製造業の現場に続き、介護など保健衛生業が多い。

男女別では女性が六割を占め、そのうち約八割が五十歳以上となっている。子育てを終えた世代が、福祉施設などで働くケースが増えていることが、増加の背景にあるとみられる。

大手企業の中には、従業員向けに体力づくりに取り組むところもあるが、中小企業からは「どうしたらいいかわからない」との声が多く、労働局は独自に体操をつくって普及させることにした。

中京大国際教養学部の渡辺航平准教授（健康科学）の協力で、体重をかけてかかとを上げる動きなどで筋力を鍛える内容。三分ほど

の動画にまとめた。

名古屋市で一月二十二日にあった労働関係団体の懇談会では、動画に出演するトヨタ自動車女子ソフトボールチームが体操を披露。労働局の担当者は「転倒による骨折で一カ月以上休むケースも多い。リスクを正しく見つめ直し体力の補強をしてもらえれば」と呼び掛けている。



<中日新聞  
2019年2月6日(水)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>